

1 人口ビジョン・総合戦略について

① 国の動き

国において、2014年（平成26年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、同年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、地方が成長して活力を取り戻し、人口減少を克服することを目標に、地方創生に向けた施策が展開されている。

しごとの創生

若い世代が安心して働ける（雇用の質）

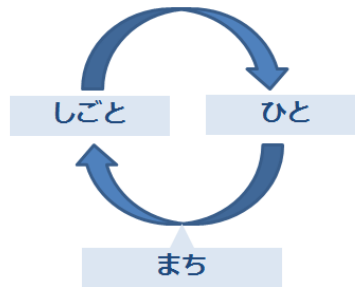
ひとの創生

地方への新しい人の流れをつくる  
（若者の就労，移住・定住促進）

まちの創生

地方で安心して暮らせるよう，各地域の  
特性に即した課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環，  
それを支える「まち」の活性化

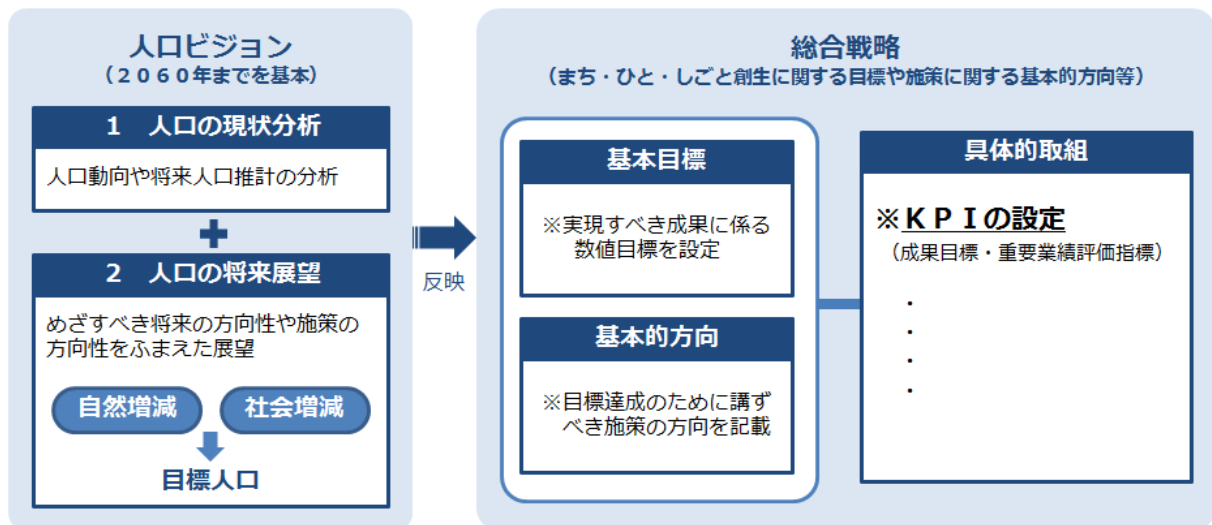


基本目標

- ①安定した雇用の創出
- ②新しい人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④安心な暮らしを守る，地域と地域の連携

② 地方の動き

国の取組を受け、地方においても、人口動向を分析し、将来展望を示す「人口ビジョン」と、それを基に、今後5か年の目標、施策の基本的方向性や施策を提示する「総合戦略」を策定することとなっている。



## 2 「福山市総合戦略」と「びんご圏域ビジョン」の関係について

### ① 基本スタンス

昨年度、本市を連携中都市とする備後圏域において、圏域の一体的な発展に向け、産学官民で連携して、圏域の成長戦略となる「びんご圏域ビジョン」を策定し、全国に先駆け、国の「連携中枢都市圏構想」の取組を推進しているところである。

この「連携中枢都市圏構想（びんご圏域ビジョン）」と「地方版総合戦略（福山市総合戦略）」は、共に人口減少に歯止めをかけ、活力と魅力ある地域づくりを進めることを目的とするものである。

このため、連携中枢都市である本市の総合戦略は、びんご圏域ビジョンと方向性が異なることのないようにする。

	連携中枢都市圏構想	地方版総合戦略
計画の名称	びんご圏域ビジョン (2015年(平成27年)2月策定)	福山市総合戦略 (これから策定)
対象	備後圏域	福山市
目的	人口減少に歯止めをかけ、活力と魅力ある地域づくりを進める ※同じ方向性	

#### 【参考】備後圏域の構成自治体

広島県	三原市, 尾道市, 福山市(連携中枢都市), 府中市, 世羅町, 神石高原町
岡山県	笠岡市, 井原市

### ② 「福山市総合戦略」の位置付け

- ・「びんご圏域ビジョン」の実現のためには、連携中枢都市である福山市に活力と成長力があり、圏域のリーダーとしての責任と役割を果たさなければならない。
- ・連携中枢都市である福山市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた戦略と施策を位置付けたものが「福山市総合戦略」である。

